

第三次佐久市環境基本計画 策定業務

実施体制について

佐久市 環境部 環境政策課

1 策定支援の受託事業者

受託事業者

株式会社ナレッジリーン

(公募型プロポーザル方式により選定)

契約期間

令和8年8月～令和10年3月まで

策定支援業務内容

- ・ 基礎調査
- ・ 市民意見の把握
- ・ 進行管理の仕組みの検討
- ・ 会議等運営支援
- ・ 計画（案）作成支援

計画策定期間

令和8年度 ～ 令和9年度（2か年）



2 計画策定に向けた本市の基本姿勢

本計画の策定にあたっては、以下の3つの基本姿勢を軸に、皆様の御意見を伺いながら実効性の高い計画を目指します。

●ウェルビーイングを最上位目的に三大未来方針の道筋を明確化

国の「第六次環境基本計画」では、社会や経済の基盤である**環境の質を上げることで持続可能でより良い成長社会の実現＝ウェルビーイング※の向上を目指す**ことを最上位の目的としています。本市の最上位計画である「佐久市総合計画」をはじめ各関係計画とも連動し、ウェルビーイングを最終目的に、ネット・ゼロ（脱炭素社会）、サーキュラーエコノミー（循環経済）、ネイチャーポジティブ（自然再興）の三大未来方針の実現に向け、三分野の相互関連性を踏まえて分野横断性にも配慮した未来に向けた道筋を明確化してまいります。

※ウェルビーイング：社会的、経済的、環境的な状況によって決定される、個人や社会のよい状態のこと。

- 地域資源把握とポテンシャル分析
- 安全・安心の基盤としての気候変動適応
- 分野横断型取組・ロードマップ策定

●情報の受け手・行動の担い手の視点からの意向把握・普及啓発策の検討

- 共働きの増加などライフスタイルの変化に伴い、佐久市でも地域環境活動の担い手は年々減少しています。また、スマートフォンやSNSでの情報収集が主流となり、個人の興味・関心に合う情報だけが表示されるようになったことで、**本市から伝えたい情報が十分に伝わらない（伝達方法が限られている）**課題が生じています。
- このような社会背景を踏まえたうえで、市民意見の把握や普及啓発の方法について、情報の受け手や行動の担い手の視点から効果的な手法を実践していきます。

- 公式LINEを活用した意見把握
- 誰もが参加しやすいWS
- 世代に応じた啓発策の検討

●定期的な検証により実効性を高める進行管理の仕組みの提案

- 計画に示される施策を効果的に進めるには、施策の的確な実施に加え、その効果を計画期間のなかで定期的に検証し、見直しを図っていく必要があります。
- 環境政策は、経済・福祉・まちづくりなど多様な部署の施策を通じて効果を発揮するものも多く、連携・調整が必要不可欠です。**各部署の役割及び施策の到達点を明確にし、施策の実効性を高めていくための進行管理の仕組みを構築**してまいります。

- データの連続性が可視化される温室効果ガス排出量算定システム
- 目標管理と施策管理の指標設定
- 進捗管理ツール

計画策定・課題解決に向けた全体フロー

最終的な「分野横断型のロードマップ作成」をゴールに見据え、以下の3つのステップで着実に計画策定を進めてまいります。

Step 1

【現状と課題の把握】 基礎調査

- 国内外動向、他都市環境施策の調査、佐久市の現状や特性分析、動向を踏まえた方向性の整理
- 現行計画（第二次計画）の施策の進捗評価と課題分析

調査期間：令和8年8月～10月

Step 2

【多様な声の収集】 市民意見把握

- アンケートの実施（過去施策の結果把握・意識比較のための本調査＋幅広い意見を集めるLINEミニアンケート）

実施期間：令和8年9月～11月

- 市民ワークショップの開催（調査結果を踏まえ、専門知識がなくても参加しやすい形式で課題解決策を議論）

実施期間：令和9年3月～4月

Step 3

【解決策の具体化】 課題解決と計画策定

- 目標及び指標（案）検討
- 個別分野の相乗効果を促す分野横断型の取組検討

検討期間：

令和8年12月～令和9年8月

▶ **ロードマップ（実行計画）の作成（最終ゴール）**

骨子案： 令和9年2月 計画完成：令和10年3月

素案： 令和9年9月

計画案：令和10年2月

●市民・事業者アンケート【市民1,500名、事業者200者程度】

●意識啓発の機会として無作為調査を実施

- 市民・事業者アンケートは、無作為抽出された様々な立場の対象に対し、直接的に普及啓発を行うことができる貴重な機会です。
- 調査票に登場する用語の解説や、環境行動に関する情報、市の事業などを紹介することで、**回答者の意識啓発を図り、環境行動への気づきを図る**ことを目的に実施いたします。
- 調査項目は、連続性に配慮し、現行計画策定時の項目を基本としつつ、**社会トレンドに応じた項目や成果指標となりうる項目を追加**しました。各設問の目的を明確化して無駄のない調査票を作成し、**回答者の負担軽減・回収率向上へつなげて**まいります。
- 郵送に加えてWEB回答でも受け付けを行い、回答に手間がかからないよう工夫をいたします。

●公式LINEでのミニアンケート

●多くの人から回答を得る調査として実施

- 市民・事業者アンケートに加えて、佐久市の公式LINEを活用したミニアンケートの実施を提案いたします。
- 公式LINEに登録している多くの人・様々な世代から回答を得ることを目的とし、設問数はスマートフォンでのスクロールが極力少なくなるよう、5問程度に絞り込みます。
- 内容は、**回答者の生活実態を把握するものではなく、佐久市の未来の環境に期待することなど気軽に回答できるよう工夫**をいたします。

●LINEアンケート調査項目（案）と設問の目的・分析の視点●

調査項目	設問の目的	分析の視点
①佐久市の環境のよいところ、残っていてほしいもの	①地域資源の把握（自由記述）	記述はワードクラウドでまとめ
②理想とする将来の佐久市の地域環境の姿	②将来像や基本目標の活用（自由記述）	
③詳しく知りたい環境問題	③環境教育や学習施策検討（選択式）	
④情報を入手しやすい方法や媒体	④普及啓発の施策検討（選択式）	

●専門的な知識がなくても参加しやすいワークショップの実施

- 身近な環境を題材としたインプットトークで参加の敷居を低く
- 未来像の実現に向けた情報発信のアイデア募集をゴールとすることで参加者全員の発言機会をつくるなど

●ワークショップの運営方針

- 市政への参加や地域の活動などは、敷居が高く専門的な知識が必要なのではと構えてしまう可能性もあることから、門戸を広く開放して誰もが参加しやすいワークショップとなるよう工夫していくことで、**関心があっても参加のきっかけがなかった『セカンドランナー層』の参加を促して**いくことが考えられます。
- 専門的知識がないなどで参加を躊躇しないよう、身近な生活圏を題材に、誰もがイメージしやすいゴール設定となるようプログラムの工夫を行います。

●ワークショップで目指すポイント

①仲間づくり

- 計画策定期間で終わりではなく、継続的に参加者同士の交流へとつながるよう、**仲間づくりを意識したプログラム**構成を検討します。参加者の年齢層が近くなるよう、**世代別のワークショップ**とします。

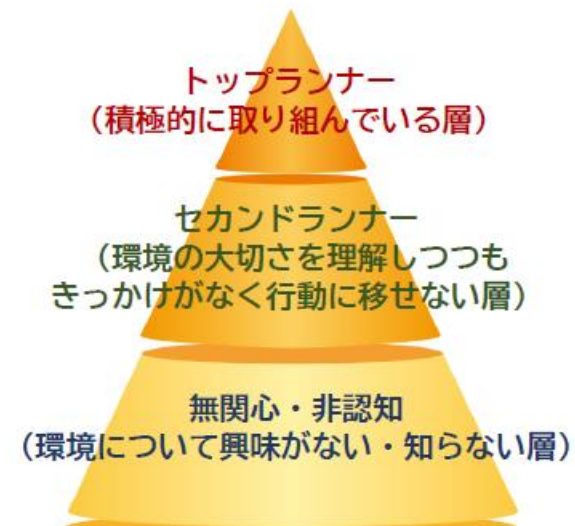
②未来の理想の佐久市の環境の姿を考える

- 将来佐久市の環境がどうなっているといいか、どのようなまちになっているか、最終的な理想の姿について、**今ある技術に限らずこんなことができているとよいと自由な発想**で考えていきます。

③より多くの人が行動に移す方法を考える

- 将来の理想の佐久市の環境の姿の実現のために、**共感者を増やす方法**を考えていきます。どうすれば情報が伝わるのか、世代別に考えることで各年代層に応じた啓発策を検討していきます。

●環境の取組の行動層（イメージ）●



●世代別 1 回完結型の未来を考えるワークショップ

区分	区分の特徴と参加募集方法
大人ワークショップ 【市内在住者】	● 複数年生活の拠点として在住している層。地域の環境を将来に受け継いでいくことがテーマ ● 広報や公式LINE等で幅広く募集。
学生ワークショップ 【市内在学・在住高校生・大学生】	● 進学・就職で将来住む場所を選択していく層。理想の住み続けたいまちはどのようなかがテーマ ● 学校を通して参加者を募集。試験期間や部活等に配慮したうえで日程を設定。

第三次佐久市環境基本計画策定に向けたアンケート 調査票（案）について

本日は、次期計画策定の基礎資料となる「市民・事業者向けアンケート調査票（第1稿）」をご提示させていただきます。

今回の調査は、前回（令和4年度）の調査結果との経年変化を分析するため、基本的な設問構成は前回は踏襲しつつ、気候変動や脱炭素化など、昨今の環境情勢の変化を捉えるため、新たに設問を追加するなどの見直しを行いました。

1 市民向けアンケートの主な変更点

① 基本的な設問（問1～問7、問11～問12、問14～問16）は維持

回答者の属性や、現在の環境に対する満足度・重要度などの基本項目は前回調査と同様の設問内容（ただし、回答項目は最新のものにバージョンアップ）とし、経年変化を比較分析し、課題などの洗い出しを行います。

② 追加項目（問8～問10、問13、問17～19）

近年重要性が高まっている「生物多様性」や「気候変動」の最新動向、また効果的な情報発信のあり方を把握するため、主に以下の意図で設問を追加しました。

・問8： 生物多様性の具体的な行動を把握する内容として追加しました。

・問9： 佐久市の特徴的な取組である「生きものさがし」の認知度と参加状況を把握するとともに、制度そのものを市民へ周知する目的も兼ねて追加しました。

・問10： 生物多様性の保全に向けた、市民の具体的な行動の実態を把握する内容として追加しました。

・問13： 今後の具体的な施策展開の参考とするため追加しました。

・問17～19： 情報の受け手（市民）の視点に立った、今後の効果的な普及啓発策や情報発信手法を検討するため追加しました。

2 事業者向けアンケートの主な変更点

① 基本的な設問（問1～問9、問14～問15等）は維持

回答事業者の属性（問1～4）や、環境保全に対する基本的な取組状況（問5～9）などの基本項目は前回調査と同様の設問内容（ただし、回答項目は最新のものにバージョンアップ）とし、経年変化を比較分析し、市内の事業活動における課題などの洗い出しを行います。

② 追加・見直し項目（問10～問11、問12～問13、問16）

「脱炭素経営（GX）」や「気候変動リスク」、「ネイチャーポジティブ（自然再

興)」への対応状況を把握するため、主に以下の意図で設問を追加・見直しました。

・問 10～問 11：「サプライチェーン全体の排出量把握」や「取引先・金融機関からの脱炭素対応の要請」など、市内の事業者が現在どのフェーズにあるかを把握するため、追加しました。

・問 12～問 13：温暖化の影響を「従業員の熱中症・健康影響」や「豪雨・洪水等による施設への被害」など、各事業所における気候変動への適応策（BCP やハザードマップ確認等）の現状を把握するため新設しました。

・問 16：国の重要施策である「ネイチャーポジティブ（自然再興）」に向けた取組として、「自然共生サイト」等の保全活動に対する民間企業の協力意向を把握するため新設しました。

3 委員の皆様へのお願い

今回のアンケートでは、過去調査との比較（経年変化の把握）を可能にするため、前半の基本項目（属性や満足度等）につきましては原則として変更せずに実施したいと考えております。

つきましては、新たに追加・見直しを行った設問を中心に、追加すべき視点や回答しづらい表現がないか等につきまして、ご意見・ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

佐久市の環境についての市民アンケート調査

市民の皆様には、日ごろより、佐久市の環境行政の推進にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

市では、平成 30 年 3 月に「第二次佐久市環境基本計画」を策定し、令和 5 年 3 月に改訂を行い、環境の保全や地球温暖化対策、生物多様性の保全などに関する施策を推進してきました。

このたび、現計画の期間終了を見据え、気候変動や脱炭素、資源循環、生物多様性など、環境を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、令和 10 年度を初年度とする「第三次佐久市環境基本計画」を策定することとなりました。

新たな計画の策定にあたり、市民の皆様から、佐久市の環境に対する満足度や環境に関する取組、今後の課題などについてご意見をお伺いするため、アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和 8 年●月●日

佐久市長 柳田 清二



佐久市環境基本計画

- ◆ 市内に在住する満 20 歳以上の 1,500 人の方を無作為に抽出し、無記名でご回答をお願いしています。
- ◆ ご回答いただきました内容は、本調査の目的以外に使用することはありません。また、統計的に処理したうえで利用しますので、回答いただいた方の個人情報が公表されることはありません。
- ◆ 本調査票の整理番号は、重複回答を避けるためのもので、個人を特定するものではありません。
- ◆ 返信用封筒のバーコードは、郵便手続のためのもので、個人を特定するものではありません。

ご回答の方法

① 郵送でのご回答

本調査票に直接ご記入頂き、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへご投函（切手貼付不要）ください。

② スマートフォン・WEB でのご回答

下記サイトより、サイトの指示に従ってご回答をお願いいたします。

<https://forms.gle/hCgZWwqkVYCGZC7G9> ※リンク更新済

※Google フォームを使用しています。入力しやすいよう、短縮アドレスを記載しています。



ご回答は、●月●日(●)までをお願いいたします。

◇調査についてのお問い合わせ◇

佐久市環境部環境政策課

〒385-8501 長野県佐久市中込 3056

電 話：0267-62-2917 F A X：0267-62-2289

◆あなたご自身のことについて、お伺いします◆

問1 あなたの年齢は次のうちどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1. 20 歳代 | 2. 30 歳代 | 3. 40 歳代 |
| 4. 50 歳代 | 5. 60 歳代 | 6. 70 歳以上 |

問2 あなたがお住まいの「地域」は、どこですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | |
|---------|---------|
| 1. 浅間地域 | 2. 野沢地域 |
| 3. 中込地域 | 4. 東地域 |
| 5. 臼田地域 | 6. 浅科地域 |
| 7. 望月地域 | |

問3 あなたの住居の形態は次のうちどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 一戸建て（持ち家） | 2. 一戸建て（借家） | 3. 集合住宅（持ち家） |
| 4. 集合住宅（借家） | 5. 社宅・寮 | 6. その他（ ） |

問4 あなたの世帯構成は次のうちどれですか。あてはまる番号に○で囲んでください。

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ | 3. 二世帯世帯 |
| 4. 三世帯世帯 | 5. その他（ ） | |

問5 世帯で所有している自動車は何台ですか。あてはまる番号に○で囲んでください。

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. なし | 2. 1台 | 3. 2台 | 4. 3台以上 |
|-------|-------|-------|---------|

◆佐久市の環境についてお伺いします◆

問6 佐久市の環境について、日ごろどのように感じていますか。各項目の満足度【A】と重要度【B】について、あてはまる番号 1～5 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

		【A】日ごろ感じる満足度					【B】日ごろ感じる重要度				
項 目		満 足	ま あ 満 足	普 通	やや 不 満	不 満	重 要	やや 重 要	普 通	あまり 重 要 で ない	重 要 で ない
記入例 ⇒		5	4	③	2	1	5	4	3	②	1
①	身近に自然に親しめる空間がある	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
②	希少な野生生物の生息・生育空間が守られている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③	山や森林など緑の豊かさが感じられる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

④	河川や水路、ため池など水の豊かさが感じられる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤	環境に配慮した農業が行われ、豊かな水田・畑がある	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥	緑と親しめる公園・緑地が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑦	自然景観とまちなみが調和した魅力的な景観がある	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑧	ごみのポイ捨てなどがなく、まちが清潔である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑨	きれいな空気が保たれている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑩	安全できれいな水が保たれている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑪	土壌汚染や地盤沈下が防止されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑫	騒音・振動の少ない静かな生活が守られている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑬	化学物質（ダイオキシン類、アスベストなど）のリスクが低減され、安心して暮らすことができる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑭	ごみの減量化が進んでいる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑮	ごみが適切に収集・処理されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑯	不要な照明を消したり、LED 照明に買い替えるなど、エネルギー使用量を削減した暮らしができています	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑰	太陽光など再生可能エネルギーが活用された暮らしができています	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑱	資源が活用され、リサイクルが積極的に行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑲	風水害や土砂災害などの対策がされており、安心して暮らすことができる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑳	歴史的文化が自然環境と一体となって保全されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉑	環境学習の機会がある	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉒	環境保全のための情報が提供され、取り組みやすい	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉓	環境に関する市民活動やイベント開催が活発である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉔	猛暑による熱中症や新たな感染症など、気候変動による健康被害に備えた取組が進んでいる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問 7 あなたは、生物多様性という言葉とその内容を知っていましたか。以下の 1～4 の項目のうち、あてはまる番号を 1 つだけ選んで、○で囲んでください。

1. 言葉を知っており、意味もよく理解している
2. 言葉を知っており、概ね意味を理解している
3. 言葉としては知っているが、意味はよく理解していない
4. 初めて知った

生物多様性とは？

生物多様性とは、地球上に生存する生命の多様さをいい、自然環境の豊かさを表しています。生物多様性は、私たち人類を含む膨大な「種の多様性」だけでなく、同じ種であっても異なる個性を有する「遺伝子

の多様性」、様々な生物が関わってできている「生態系の多様性」をも含んだ考え方です。

問 8 あなたが現在、生物多様性を守るために取り組んでいることはありますか。

あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 自然や生きものに関心を持っている（または、理解を深めている）
2. 生きものに関する講座や自然観察会などに参加している
3. 外来生物の駆除や森林・水辺などの自然環境の保全活動に参加している
4. 生物多様性に配慮して生産された農林産物や商品を選んでいる
5. 庭やベランダなどで、地域の生きものに配慮した植物を育てている
6. 自然や生きものの魅力、保全活動などについて家族や友人、SNS 等で伝えている
7. その他（ ）
8. 特に取り組んでいない

問 9 佐久市では、市民の皆様から市内で見つけた生きものの情報を報告していただく「緑の環境調査（佐久市生きものさがし）」を毎年実施しています。あなたは、この調査について知っていますか。また、参加したことがありますか。あてはまる番号を 1 つだけ○で囲んでください。

1. 調査に参加し、生きものの情報を報告したことがある
2. 調査の内容を知っているが、参加したことはない
3. 名前を聞いたことはあるが、内容はよく知らない
4. 今回初めて知った



佐久市生きものさがしについてはこちらをご覧ください

問 10 自然や生きものを守るために、あなたはどのような方法であれば貢献したいと思いますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 森林・水辺などの保全、外来生物の駆除、清掃などの活動に参加したい
2. 生きもの調査や自然観察など、市民参加型の調査に参加・協力したい
3. 自然環境の保全に配慮して生産された地元の農林産物などを購入したい
4. 生物多様性の保全に取り組む企業の商品やサービスを積極的に利用したい
5. 自然や生きもの、保全活動についての情報を家族や友人、SNS などで伝えたい
6. その他（ ）
7. 特に貢献したいと思わない
8. わからない

◆環境に関する取組についてお伺いします◆

問 11 環境に関して、普段あなたが取り組んでいることを教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号 1～4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

取組の内容	取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組みは難しい	該当しない
記入例 ⇒	1	②	3	4

①	不要な照明やテレビはこまめに消す	1	2	3	4
②	冷暖房を使用するときは温度設定に気を付けている	1	2	3	4
③	家庭で使用した電気、ガス、ガソリンなどの状況を把握している	1	2	3	4
④	近くへの移動はできるだけ徒歩や自転車を利用している	1	2	3	4
⑤	植物の水やりに雨水を使用している	1	2	3	4
⑥	生ごみを減らすために食材は使い切り、食べ残しを減らしている	1	2	3	4
⑦	マイバッグ・マイボトルを利用し、使い捨て製品を減らしている	1	2	3	4
⑧	空き缶やびん、ペットボトル、古紙などの資源を分別している	1	2	3	4
⑨	まだ使えるものを捨てず、修理・譲渡・リユースなどにより長く使っている	1	2	3	4
⑩	環境ラベルや省エネラベル等を参考に、環境に配慮した商品を選んでいる	1	2	3	4
⑪	地元で生産された農産物や商品を選んでいる	1	2	3	4
⑫	自動車を使用するときはエコドライブを実践している	1	2	3	4
⑬	自宅の植栽や緑のカーテンなど緑化をしている	1	2	3	4
⑭	自宅や職場周辺のハザードマップや避難場所を確認している	1	2	3	4
⑮	暑さ指数（WBGT）や熱中症警戒アラートを確認し、熱中症対策を行っている	1	2	3	4
⑯	地域の清掃、資源回収、緑化などの活動に参加している	1	2	3	4
⑰	自然観察や自然環境の保全活動に参加している	1	2	3	4
⑱	環境に関する講座、イベント等に参加している	1	2	3	4
⑲	その他（ ）	1	2	3	4

問 12 問 11 で 1 つ以上「取り組むのは難しい」と回答した方にご質問します。取り組むのは難しい理由としてあてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 費用がかかる	2. 時間がない
3. 手間がかかる	4. 具体的に何をすればよいかわからない
5. 取り組んだ効果がわからない	6. 必要な情報が得られない
7. 参加できる機会がない	8. 自分一人が取り組んでも効果が小さいと思う
9. 住宅や職場などの事情により、自分では決められない	
10. 公共交通や設備など、利用できる環境が整っていない	
11. 環境問題にあまり関心がない	12. 特に理由はない
13. その他（ ）	

問 13 どのようなものがあれば、環境に配慮した行動に取り組みやすくなると思いますか。
あてはまるものを 3 つまで選び○で囲んでください。

1. 補助金や助成制度	
2. 電気代や燃料代などの節約効果がわかる情報	
3. CO2 削減量など環境への効果がわかる情報	4. 簡単にできる具体的な取組方法
5. 自分に合った情報が定期的に届くこと	6. ポイントや特典などのメリット
7. 家族や友人、地域で一緒に取り組める機会	8. 参加しやすいイベント・講座
9. 利用しやすい公共交通や設備の整備	10. 特にない

11. その他 ()

◆気候変動問題についてお伺いします◆

問 14 地球温暖化が進行する中、日本でも平均気温の上昇や大雨の頻度の増加などの気候変動が観測されています。あなたが、日常生活の中ですでに感じている、又は今後特に心配している気候変動の影響は何ですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 猛暑日・酷暑日や熱帯夜の増加 | 2. 熱中症など健康への影響 |
| 3. 短時間の強い雨や豪雨の増加 | 4. 洪水や浸水被害の増加 |
| 5. 土砂災害の増加 | 6. 雨が少ない時期の増加や渇水 |
| 7. 農作物の品質低下、生育障害、栽培適地の変化 | 8. 森林や農地への影響 |
| 9. 野生生物や植物の生息・生育状況の変化 | 10. 感染症など健康リスクの増加 |
| 11. 冬季の気温や降雪の変化 | 12. 特に感じていない・心配していない |
| 13. その他 () | |

問 14-2 日常生活の中で、以前と比べて変わったと感じる気候や自然環境の変化があれば、ご記入ください。

問 15 地球温暖化対策につながる次の項目について、導入しているものはありますか。各項目の導入状況【A】について、あてはまる番号 1～4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。また、【A】で「関心はない、又は該当しない」と回答された方は、各項目の「関心はない、又は該当しない」と回答した理由【B】について、あてはまる番号 1～4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

		【A】導入状況				【B】「関心はない、又は該当しない」と回答した理由			
項 目		導入済み	(予定含む) 導入検討中	関心はないが 予定はないが 関心はある	関心はない、 又は該当しない	コストがかかる	効果が わからない	借家や集合住宅 のため設置不可	特に理由はない
記入例（【A】で「関心はない、又は該当しない」以外選択 ⇒		①	2	3	4	1	2	3	4
記入例（【A】で「関心はない、又は該当しない」選択 ⇒		1	2	3	④	①	2	3	4
①	LEDなどの高効率照明	1	2	3	4	1	2	3	4
②	電力消費や待機電力の少ない家電製品	1	2	3	4	1	2	3	4
③	ペアガラスや二重サッシなど気密性の高い窓・サッシ	1	2	3	4	1	2	3	4
④	壁、床、天井などの断熱	1	2	3	4	1	2	3	4

⑤	エコジョーズ、エコキュートなど、効率の良い給湯器	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥	住宅用太陽光発電システム	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦	住宅用太陽熱利用システム	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧	家庭用蓄電池システム	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨	HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）※1	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩	再生可能エネルギー、自然エネルギー由来の電力（電力会社の切り替え）	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪	PHEV（プラグイン・ハイブリッド・カー）	1	2	3	4	1	2	3	4
⑫	EV（電気自動車）	1	2	3	4	1	2	3	4
⑬	ZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）※2	1	2	3	4	1	2	3	4
⑭	ペレットストーブ・薪ストーブ	1	2	3	4	1	2	3	4
⑮	雨水の貯留・利用設備	1	2	3	4	1	2	3	4

※1 HEMS：家庭のエネルギーを効率よくコントロールするシステム。

※2 ZEH：高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅。

◆市の環境政策についてお伺いします◆

問 16 佐久市の環境をより良くするために、市が重点的に取り組むべき環境への取組は、どれだと思いますか。あてはまる番号を5つまで○で囲んでください。

1. 河川・地下水など良好な水環境と水循環の保全
2. 大気、騒音・振動、悪臭、化学物質など生活環境の保全
3. ごみのポイ捨て・不法投棄の防止などまちの美化
4. 良好な景観・まちなみの保全
5. 森林・里山・水辺・農地など身近な自然環境の保全
6. 希少な生きものを含む生物多様性の保全と自然の回復
7. 自然環境と調和した農林業の推進
8. ごみの減量と食品ロスの削減
9. リユース・再利用・再資源化など資源循環の推進
10. プラスチックごみ対策
11. 住宅・建物の省エネルギー化
12. 太陽光など再生可能エネルギーの活用
13. 公共交通、徒歩、自転車、次世代自動車等を利用しやすい環境づくり
14. 豪雨、洪水、土砂災害など気候変動による災害への備え
15. 暑さ・熱中症など気候変動による健康影響への対策
16. 環境教育・環境学習の充実
17. 環境に関する情報発信の充実
18. 市民・事業者・地域団体による環境活動への支援
19. その他（)

問 17 市が進めている環境の取組などの情報を、どこから入手していますか。あてはまるものをすべて選んで○で囲んでください。

1. 広報佐久	2. 市のホームページ	3. 佐久市公式 LINE
4. 市の X・Facebook・Instagram 等	5. YouTube	6. 市や自治会の掲示板
7. 町内会・自治会の回覧	8. 市施設のチラシ・ポスター	9. 学校から
10. 新聞・テレビ・ラジオ	11. 家族・友人・知人から	
12. 特に環境情報を入手していない	13. その他 ()	

問 18 今後、佐久市の環境に関する情報を受け取る場合、利用しやすいと思う方法を3つまで選んで○で囲んでください。

1. 広報佐久	2. 市のホームページ	3. 佐久市公式 LINE
4. メール配信	5. 市の X・Facebook・Instagram 等	6. YouTube
7. 自治会回覧・掲示板	8. 学校・地域のイベント	
9. 市施設等のチラシ・ポスター	10. その他 ()	

問 19 佐久市の環境について、今後どのような情報をもっと知りたいですか。あてはまる番号3つまで選んで○で囲んでください。

1. 佐久市の自然・生きもの	2. 気候変動と将来予測
3. 熱中症への備え（熱中症警戒アラート、クーリングシェルターなど）	
4. 家庭でできる省エネ・脱炭素の取組（デコ活など）	
5. 省エネ設備・太陽光発電等の補助制度	6. ごみの分別・リサイクル
7. 食品ロスや資源循環	8. 環境イベント・自然観察会等
9. 環境活動を行う市民団体等の情報	10. 市が行っている環境施策
11. 特にない	
12. その他 ()	

◆最後に、環境に関わるご意見等があれば、ご自由にお書き下さい。◆

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
 本調査票を返信用封筒に入れ、
 令和8年●月●日（●）までにご投函ください。

佐久市の環境についての事業者アンケート調査

事業者の皆様には、日ごろより、佐久市の環境行政の推進にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

市では、平成 30 年 3 月に「第二次佐久市環境基本計画」を策定し、令和 5 年 3 月に改訂を行い、環境の保全や地球温暖化対策、生物多様性の保全などに関する施策を推進してきました。

このたび、現計画の期間終了を見据え、気候変動や脱炭素、資源循環、生物多様性など、環境を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、令和 10 年度を初年度とする「第三次佐久市環境基本計画」を策定することとなりました。

新たな計画の策定にあたり、事業者の皆様から、環境・脱炭素に関する取組状況や課題、市に期待する支援などについてご意見をお伺いするため、アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和 8 年 ● 月 ● 日

佐久市長 柳田 清二



佐久市環境基本計画

- ◆ 佐久市内の事業所から 200 事業所を無作為に抽出しています。
- ◆ ご回答いただきました内容は、本調査の目的以外に使用することはありません。また、統計的に処理したうえで利用しますので、貴事業所が特定されることはありません。
- ◆ ご記入にあたっては、貴事業所（送付先が支店ならば支店）としてのお考えをご記入ください。
- ◆ 本調査票の整理番号は、重複回答を避けるためのもので、事業者を特定するものではありません。
- ◆ 返信用封筒のバーコードは、郵便手続のためのもので、事業者を特定するものではありません。

ご回答の方法

① 郵送でのご回答

本調査票に直接ご記入頂き、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへご投函（切手貼付不要）ください。

② スマートフォン・WEB でのご回答

下記サイトより、サイトの指示に従ってご回答をお願いいたします。

<https://forms.gle/8wqTnwKhqmZT5pFz6> **リンク更新済**

※Google フォームを使用しています。入力しやすいよう、短縮アドレスを記載しています。



ご回答は、**●月●日(●)**までをお願いいたします。

◇調査についてのお問い合わせ◇

佐久市環境部環境政策課

〒385-8501 長野県佐久市中込 3056

電 話：0267-62-2917 F A X：0267-62-2289

◆貴事業所のことについてお伺いします◆

問 1 貴事業所の業種について、あてはまる番号を 1つだけ○（兼業の場合、売上げの割合が高いもの）で囲んでください。

- | | | | |
|-----------|---------------------------------|-----------|---------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 建設業 | 3. 製造業 | 4. 電気・ガス・熱供給業 |
| 5. 情報通信業 | 6. 運輸業 | 7. 卸売・小売業 | 8. 金融・保険業 |
| 9. 不動産業 | 10. 飲食・宿泊業 | 11. 医療・福祉 | 12. 教育・学習支援業 |
| 13. サービス業 | 14. その他（ ） | | |

問 2 貴事業所の従業員規模について、あてはまる番号を 1つだけ○で囲んでください。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 1～9人 | 2. 10～19人 | 3. 20～49人 |
| 4. 50～99人 | 5. 100人以上 | |

問 3 貴事業所の所在地について、あてはまる番号を 1つだけ○で囲んでください。

- | | |
|---------|---------|
| 1. 浅間地域 | 2. 野沢地域 |
| 3. 中込地域 | 4. 東地域 |
| 5. 臼田地域 | 6. 浅科地域 |
| 7. 望月地域 | |

問 4 貴事業所の建物の形態は次のうちどれですか。あてはまる番号を 1つだけ○で囲んでください。

- | | | |
|----------------|----------------|------------|
| 1. 所有物件（事業所独立） | 2. 所有物件（自宅と兼用） | 3. 賃貸、テナント |
|----------------|----------------|------------|

◆貴事業所の環境活動についてお伺いします◆

問 5 - 1 貴事業所では、どのような環境活動に取り組んでいますか。それぞれの項目について、当てはまる番号 1～4 の中から 1つだけ○で囲んでください。

項 目		既に取り組んでいる	取組を検討中	取り組む予定はない	当社には該当しない
記入例 ⇒		①	2	3	4
①	大気汚染防止（設備等の設置など）	1	2	3	4
②	排水対策の実施	1	2	3	4
③	防音対策の実施（低騒音型機器の導入など）	1	2	3	4
④	悪臭防止対策の実施	1	2	3	4
⑤	有害物質の使用削減	1	2	3	4
⑥	事業所敷地内や周辺の自然環境の保全・再生	1	2	3	4
⑦	温室効果ガス排出量の把握・抑制	1	2	3	4
⑧	特定フロンの使用削減	1	2	3	4

⑨	電気やガス使用量の削減など省エネルギーの実践	1	2	3	4
⑩	省エネルギー診断等の受診	1	2	3	4
⑪	水の有効利用（雨水利用等）	1	2	3	4
⑫	エコ・ドライブの実践	1	2	3	4
⑬	共同輸配送等の物流の合理化	1	2	3	4
⑭	廃棄物の減量化や有効利用、再利用	1	2	3	4
⑮	使用済み製品や容器等の回収	1	2	3	4
⑯	自社製品のリサイクル	1	2	3	4
⑰	食品ロスの削減	1	2	3	4
⑱	プラスチックごみの削減・代替品の検討	1	2	3	4
⑲	環境にやさしい商品の開発	1	2	3	4
⑳	ISO14001 やエコアクション 21 等の EMS（環境マネジメントシステム）の導入	1	2	3	4
㉑	社員に対する環境教育の実施	1	2	3	4
㉒	環境情報の開示（CSR レポート等）	1	2	3	4

問 5-2 このほか、貴事業所が取り組まれている環境活動がありましたら、ご記入ください。

--

問 6 地球温暖化防止につながる機器や設備を導入していますか。それぞれの項目について、当てはまる番号 1～4 の中から 1 つだけ ○で囲んでください。

項 目		導入済み	導入検討中 (予定含む)	導入予定は ないが、 関心はある	導入予定は ない
記入例 ⇒		①	2	3	4
①	LEDなどの高効率照明	1	2	3	4
②	省エネ性能の高いエアコン、モニター、PC などの導入	1	2	3	4
③	高効率ボイラー、モーターなどの動力機	1	2	3	4
④	ヒートポンプ、潜熱回収、ガスエンジンな どの高効率空調機	1	2	3	4
⑤	冷水・冷却水ポンプ、空調機などのインバ ーター制御	1	2	3	4
⑥	コージェネレーションシステム	1	2	3	4
⑦	窓の断熱化などの建築物の省エネ性能の向上	1	2	3	4
⑧	BEMS（ビルエネルギーマネジメントシス テム）※	1	2	3	4
⑨	PHV（プラグイン・ハイブリッド・カー）	1	2	3	4
⑩	EV（電気自動車）	1	2	3	4
⑪	V2H・V2B等の電気自動車と建物間で電 力を利用する設備	1	2	3	4

⑫	太陽光発電システム	1	2	3	4
⑬	蓄電池システム	1	2	3	4
⑭	木質バイオマス等の再生可能エネルギー熱利用設備	1	2	3	4
⑮	その他（ ）	1	2	3	4

※BEMS:「ビルエネルギーマネジメントシステム」の略で、建物全体のエネルギー設備を統合的に監視し、自動制御することにより、省エネルギー化や運用の最適化を行う管理システム。

問6-2 今後、実用・一般普及予定の新技术（水素・アンモニア発電等）について導入を検討しているものがありましたら、ご記入ください。

問7 貴事業所において、問6で未導入の設備がある場合、その主な理由は何ですか。下記から該当する主な理由を3つまで選んで○で囲んでください。

1. 初期費用が高い	2. 投資回収の見通しが立たない
3. どの設備・対策が適しているかわからない	4. 補助制度等の情報が不足している
5. 申請・導入手続きが負担である	6. 設備を更新する時期ではない
7. 賃貸・テナント等のため自社で判断できない	8. 設置場所・スペースがない
9. 専門的な人材・知識が不足している	10. 本業への影響が懸念される
11. 効果がわからない	12. 特に必要性を感じない
13. その他（ ）	

問8 貴事業所において、環境活動に取り組んだことで得られた効果は何ですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 光熱費・燃料費等のコスト削減	2. 業務効率・生産性の向上
3. 企業イメージ・信用力の向上	4. 製品・サービスの付加価値向上
5. 売上・取引機会の拡大	6. 取引先からの評価・要請への対応
7. 従業員の意識向上・人材確保	8. 災害時の事業継続性向上
9. 新たな商品・サービス・事業機会につながった	10. 特に効果を感じていない
11. その他（ ）	

問9 貴事業所において、環境活動を進めるにあたり、どのようなことが課題であるとお考えですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 設備投資等のコスト	2. 投資効果・費用対効果がわからない
3. 環境・脱炭素に関する情報不足	4. 専門的知識・ノウハウ不足
5. 担当する人材が不足している	6. 社内の推進体制が整っていない
7. 経営上の優先順位が低い	8. 従業員の理解・協力が得にくい
9. 取引先・顧客の理解・協力が得にくい	
10. 取引先からどのような対応を求められるかわからない	
11. 他企業や関係機関との連携が不足している	12. 特に課題はない
13. その他（ ）	

◆ 脱炭素経営についてお伺いします ◆

問 10 日本では、「2050 年までのカーボンニュートラル」を目指すとともに、地球温暖化対策を新たな成長戦略として位置づけ、取組を加速することとしています。事業所では**脱炭素経営**への転換が求められています。

脱炭素経営とは？

脱炭素経営とは、事業所から排出される温室効果ガスを実質ゼロに近づけ、カーボンニュートラル※¹を目指すことです。国内外において、事業者の格付けや投資家及び消費者からの信用・支持の基準としても注目されており、これらは大企業のみではなく、サプライチェーン※²全体として取り組むことが必要とされています。地域の事業者においても、資金調達（融資、補助金等）でのメリットがあるほか、法改正に伴い対応が迫られることが予想されます。持続的な企業経営と競争力確保のためにも、今後取り組むべきものとして求められています。

環境省のホームページに、脱炭素経営推進のための各種ガイドブックが掲載されています。

<http://www.env.go.jp/earth/datsutansokeiei.html>

※¹ 人為的に排出される CO₂（二酸化炭素）と森林などで吸収される CO₂（二酸化炭素）が同じ量となること。

※² 商品や製品が消費者の手元に届くまでの材料調達・製造・販売・消費などの一連の流れのこと。

以下の各項目について、**貴事業所で取り組んでいること、また関心があることはありますか。**

それぞれの項目について、あてはまる番号 **1～4 の中から 1 つだけ**○で囲んでください。

項 目		取 り 組 み に 関 心 有 る	（ 予 定 有 ） 取 組 を 検 討 中	予 定 は な い が、 関 心 は あ る	予 定 は な い 取 組 む
記入例 ⇒		①	2	3	4
①	電気・燃料等のエネルギー使用量の定期的な把握	1	2	3	4
②	自社の温室効果ガス排出量の算定	1	2	3	4
③	温室効果ガス削減目標の設定	1	2	3	4
④	脱炭素に関する計画・方針の策定	1	2	3	4
⑤	再生可能エネルギー由来電力の利用	1	2	3	4
⑥	取引先等を含めたサプライチェーンの排出量・環境負荷の把握	1	2	3	4
⑦	取引先への環境・脱炭素への配慮の働きかけ	1	2	3	4
⑧	環境・脱炭素に配慮した製品・サービスの開発・提供	1	2	3	4
⑨	外部認証・制度等を活用した環境経営	1	2	3	4
⑩	その他（ ）	1	2	3	4

問 11 貴事業所では、取引先や金融機関等から、脱炭素や環境への対応を求められたことはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1～4の中から1つだけ○で囲んでください。

項 目		既に求められている 具体的な対応を している	問い合わせ・確認 等を受けたことがある	今後求められる 可能性を感じている	特 に ない	わ か ら ない
記入例 ⇒		①	2	3	4	5
①	エネルギー使用量の把握・報告	1	2	3	4	5
②	温室効果ガス排出量の算定・報告	1	2	3	4	5
③	温室効果ガス削減目標・計画の策定	1	2	3	4	5
④	省エネルギーへの取組	1	2	3	4	5
⑤	再生可能エネルギーの利用	1	2	3	4	5
⑥	環境に配慮した原材料・製品等の調達	1	2	3	4	5
⑦	廃棄物削減・リユース・リサイクル・再生資源利用	1	2	3	4	5
⑧	化学物質や生物多様性など、その他の環境配慮	1	2	3	4	5
⑨	環境関連認証の取得や環境情報の開示	1	2	3	4	5
⑩	具体的な内容はわからない	1	2	3	4	5
⑪	その他（ ）	1	2	3	4	5

◆気候変動への備えについてお伺いします◆

問 12 貴事業所では、気候変動によって、既に影響を受けている、又は今後影響が心配されるものはありますか。あてはまる番号 すべてを○で囲んでください。

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 猛暑による従業員の熱中症・健康影響 | 2. 暑さによる作業効率・生産性の低下 |
| 3. 豪雨・洪水・土砂災害による施設・設備への被害 | 4. 物流・サプライチェーンの寸断 |
| 5. 農林業・原材料等への影響 | 6. 水不足・水質等への影響 |
| 7. 冷暖房等のエネルギーコスト増加 | 8. 顧客・需要の変化 |
| 9. 特に影響は感じていない | |
| 10. その他（ ） | |

問 13 貴事業所で実施している、気候変動への備えを教えてください。

あてはまる番号 すべてを○で囲んでください。

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1. 従業員の熱中症対策 | 2. ハザードマップ・災害リスクの確認 |
| 3. BCP・災害対応計画の策定 | 4. 浸水・豪雨等への設備対策 |
| 5. 非常用電源・蓄電池等の確保 | 6. 水・原材料等の調達先の分散 |
| 7. 気候変動を踏まえた商品・サービス・生産方法の見直し | |
| 8. 特に取り組んでいない | |
| 9. その他（ ） | |

◆地域・自然との関わりについてお伺いします◆

問 14 貴事業所が現在取り組んでいる地域での環境活動を教えてください。

あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 事業所周辺の清掃・美化活動 | 2. 緑化・植樹・森林整備 |
| 3. 水辺・河川等の保全活動 | 4. 生物多様性・自然環境の保全活動 |
| 5. 環境イベントへの参加・協力 | 6. 従業員の環境ボランティア活動の支援 |
| 7. 環境保全団体等への寄付・協賛 | 8. 環境教育・学習への協力 |
| 9. 特に取り組んでいない | |
| 10. その他 () | |

問 15 貴事業所が、環境に関する地域貢献活動において、**協力、支援できる取組**はありますか。

あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 社員の参加・派遣 | 2. 寄付・協賛 |
| 3. 自社製品・物品の提供 | 4. 専門技術・ノウハウの提供 |
| 5. 会議室・敷地等の場所の提供 | 6. イベント等の企画・運営 |
| 7. 情報発信・PR への協力 | 8. 環境教育・出前講座等への協力 |
| 9. 自社敷地等を活用した自然環境保全 | 10. 現在のところ協力は難しい |
| 11. その他 () | |

問 16 今後、佐久市内で「**自然共生サイト**」の認定を受けた、または認定を目指している場所において、自然環境や生物多様性を守る活動が行われる場合、貴事業所として支援・協力することについて、どのようにお考えですか。あてはまる番号 1つだけ○で囲んでください。

自然共生サイトとは？

自然共生サイトとは、企業の森や里地里山、都市の緑地など、企業・団体等の取組によって、生物多様性の保全・回復・創出が図られている区域を国が認定する制度です。自然共生サイトの活動は、サイトを管理する主体だけでなく、企業等が資金、人材、技術・ノウハウなどを提供することで支援することもできます。詳しくは下記の環境省ホームページをご覧ください。

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>

- | |
|--------------------------------|
| 1. 積極的に支援・協力したい |
| 2. 内容や条件が合えば、支援・協力を検討したい |
| 3. 関心はあるが、どのような支援・協力ができるかわからない |
| 4. 現時点では、支援・協力することは難しい |
| 5. 支援・協力する考えはない |
| 6. わからない |

◆市の支援・施策についてお伺いします◆

問 17 貴事業所が、環境活動を進めるために、**市に期待する支援等**はありますか。あてはまる番号を**3つまで**○で囲んでください。

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 補助金・助成制度 | 2. 省エネ診断・専門家派遣 |
| 3. CO ₂ 排出量の算定支援 | 4. 脱炭素経営に関する相談窓口 |
| 5. 補助制度・技術・事例等の情報提供 | 6. セミナー・研修会 |
| 7. 先進的に取り組む事業者の事例紹介・PR | 8. 事業者同士の情報交換・マッチングの場 |
| 9. 金融機関・商工団体等との連携支援 | 10. 再エネ電力・地域エネルギーを利用できる仕組み |
| 11. 特に支援は必要ない | 12. その他 () |

問 18 **気候変動対策**について、**市が重点的に進めるべき施策**は、どれだと思いますか。あてはまる番号を**3つまで**○で囲んでください。

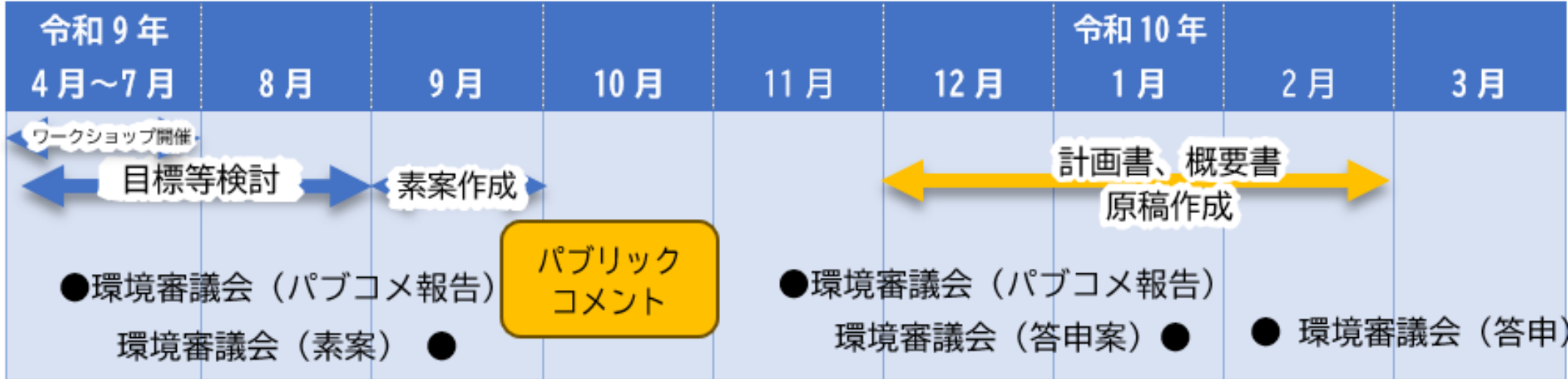
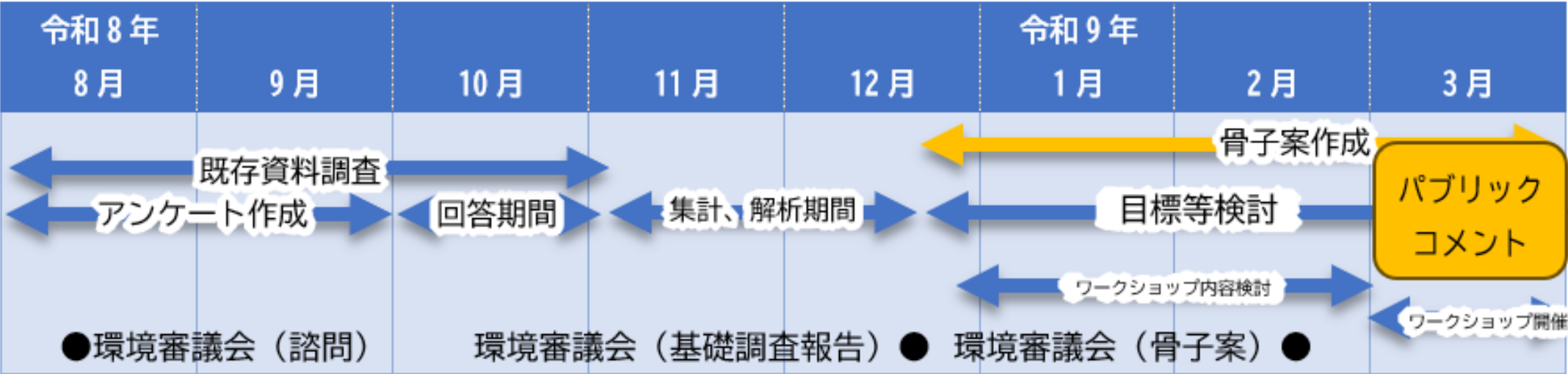
- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| 1. 事業所の省エネ設備導入支援 | 2. 建築物の断熱化・ZEB 化支援 |
| 3. 太陽光発電・蓄電池等の導入支援 | |
| 4. 再生可能エネルギーを地域でつくり地域で利用する仕組み | |
| 5. EV 等と充電設備の普及 | 6. 製造工程・燃料等の脱炭素化支援 |
| 7. 中小事業者の GX・脱炭素経営支援 | 8. 資源循環・リユース・再生資源利用の促進 |
| 9. 自然環境・生物多様性に配慮した事業活動の支援 | |
| 10. 豪雨・熱中症等への気候変動適応支援 | 11. 森林整備・木材利用等による吸収源対策 |
| 12. 市公共施設での率先的な省エネ・再エネ導入 | |
| 13. その他 () | |

問 19 市が進めている環境に関する取組などの情報を、**普段どのような方法で入手していますか**。あてはまる番号**すべてを**○で囲んでください。

- | | | |
|--|-------------|--------------|
| 1. 広報佐久 | 2. 市のホームページ | 3. 市施設を利用した際 |
| 4. 商工会から | 5. 市の産業担当から | 6. 知人・仲間から |
| 7. 市の公式 LINE、X (旧 Twitter)、Facebook、YouTube から | | |
| 8. その他 () | | |

◆最後に、環境に関わるご意見等があれば、ご自由にお書き下さい。◆

アンケートの質問は以上となります。
 ご協力いただき、ありがとうございました。
 お手数ですが、この調査票を返信用封筒に入れ、
 令和8年●月●日(金)までにご投函ください。



事前提出された意見等とそれに対する事務局回答（会議事項）

会議事項（１）第三次佐久市環境基本計画の策定について【資料１】【資料３】

No.	ご意見等	回答
1	公式 LINE でのミニアンケートについて 良いところや理想を聞くことも大切だが、現在市民が感じている課題感を記載できる問がないので、改善したほうが良いと思うところやもっとこうなって欲しいというようなことを問う設問も入れたほうが良いと思う。	いただいたご意見を踏まえ、良いところや理想の姿だけでなく、『未来に残してはいけない現在の課題・改善点など』を記載できる設問を新たに追加いたします。

会議事項（２） アンケート調査について【資料２】

No.	ご意見等	回答
1	アンケートに、省エネや再生可能エネルギーに関する回答枝がありますが、石油由来製品を他製品（紙・木材など）に代替するという趣旨の回答枝が無いように思われますので、ご検討ください。	いただいたご意見を踏まえ、市民や事業者が『代替素材の利用』を意識できるよう、該当する既存の選択肢（市民向け問 16 ⑩、事業者向け問 11⑥等）の表現を加筆・修正し、意図を明確にする形で対応いたします。 ・市民向け問 16 ⑩：「プラスチックごみ対策や代替素材（紙・木材等）の利用促進」に修正。 ・事業者向け問 11 ⑥：「環境に配慮した原材料・製品等（脱プラスチック・木材等）の調達」に修正。
2	市民アンケート問 6 ⑤環境に配慮した農業が行われ、豊かな水田・畑があるという項目があるが、2つの問いが混じっているとおもう。 環境に配慮した農業が行われていると思うのか？が聞きたいのか、水田や畑があると感じていると聞きたいのか。 この項目では、何に対して回答して良いかわからず、また回答を分析しても何に対する不満や評価なのかが不明瞭になると思うので、項目を分けるべきではないか。	本設問は過去調査からの『市民の意識の経年変化』を比較分析することを目的としておりました。 しかしながら、委員からのご指摘を受け改めて検討いたしました結果、以前は農業に携わる市民が多くいらっしゃったため、本設問で両方の意味合い（環境への配慮と、景観としての水田・畑）が含まれていても回答できていた側面がございましたが、現在の本市の状況におきましては、過去と同じ指標で経年変化の実績として正確に追うことが難しい可能性がございます。 そのため、本設問の取り扱いにつきましては今しばらくお時間をいただき、『環境に配慮した農業の手法や取組』が記載されている本市の『農業振興ビジョン』等との兼ね合いも含め、庁内の関係部門（農業担当部門等）と調整させていただいた上で、より適切な設問内容を検討してまいりたいと存じます。 方針が固まり次第、再度委員の皆様へご報告し、改めてご意見をお伺いさせていただく形といたします。
3	市民アンケート問 6 ⑭ごみの減量化が進んでいる この項目は、何をベースに回答したら良いのか？ 減量化が進んでいるかどうかは、実測値としてはかるものであり、市民に尋ねることではないと思う。市民が進んでいると感じているかどうかと実際のデータは違うと思うので、この質問は適切ではないと思う。 地域内で資源循環がされていると感じる、とか、ごみを分別する意義を感じている、とかごみの分別区分は適切だと思う、とか市民として回答できる内容にすべきでは？	『ごみの減量化』につきましては、委員ご指摘のとおり実測値で測るべき指標であることは認識しております。一方で、本設問は過去調査からの『市民の意識の経年変化』を比較分析することも目的としております。これまで『実際の廃棄物の排出量データ』と『市民の減量化が進んでいると感じているか（主観）』のギャップを分析し、「分別排出・収集の徹底等の周知・啓発活動」や「ごみの発生抑制に向けた普及、啓発」、「プラスチック使用削減の推進」といった施策へと結びつけてまいりました。 今回の調査につきましても、このギャップや過去からの変化を分析することで、「市としての実績は上がっているのに市民に実感されていない（＝周知・啓発不足）」のか、「実感はあるが実際のデータが伴っていない（＝さらなる具体的な行動変容の促進が必要）」のかといった課題を浮き彫りにし、市民の皆様の行動変容に結びつけるための、より効果的な施策づくりに活かしてまいりたいと考えております。
4	市民アンケート問 6 ⑮ごみが適切に収集・処理されている こちらについても、仮に不満が多かったときに収集に対する不満なのか、処理に対する不満なのかがわかりづらいので、分けて聞くべきでは。	また、『収集・処理』につきましても、日々の生活に直結する『収集』に重きを置いて回答される項目であると捉えておりますが、行政としては一連のプロセスとして併記せざるをえない状況となりますことをご理解ください。 以上のことから、問 6 の⑭及び⑮につきましては、今後の施策展開への活用と過去調査との連続性を優先し、前回調査と同様の形で実施させていただきたいと存じます。
5	市民アンケート問 6 ⑯不要な照明を消したり、LED 照明に買い替えるなど、エネルギー使用量を削減した暮らしができている ⑰太陽光など再生可能エネルギーが活用された暮らしができている 上記 2 問は質問の意図がわかりづらい。 佐久市の環境の取り組みについて、という設問だが、佐久市でこのような取り組みをしていると感じるかを聞きたいのか、各家庭でこのような取り組みをしているのかを聞きたいのか。 仮に佐久市の取り組みとして確認したいと思うのであれば、もう少し表現を変えたほうが良いと思う。 たとえば、佐久市内で省エネに取り組んでいる公共施設や事業所が多いと感じるとか佐久市内で再生可能エネルギーの活用が進んでいると思うなど。	本設問（問 6 全体）につきましては、佐久市（行政）の取組施策に対する評価をお聞きするものではなく、市民の皆様の暮らしを含めた『佐久市という地域全体の環境やライフスタイルの現状』を日頃どのように感じているかをお伺いする意図で設定しております。そのため、生活実態における省エネや再生可能エネルギーの普及実感についても項目に含めております。 また、本設問は過去調査からの『経年変化』を比較分析する重要な項目であることから、表現を変更してしまうと過去との比較が困難になってしまいます。 以上の理由から、誠に恐縮ではございますが、本項目（選択肢）の表現につきましては前回調査と同一のまま実施させていただきたいと存じます。
6	事業者向けのアンケート 問 5-1 事業者の取り組みとして、項目に以下のものを追加すべき。 ・再生可能エネルギーを使用している（自家発電、購入どちらでも OK） ・環境配慮製品を積極的に利用している	いただいたご意見を踏まえ、両選択肢とも追加いたします。

7	市民アンケートの改ページ位置について ・P5 問 13 の質問肢の最後「11.その他」が改ページされており、結果的に自由記述の機会を損失することに繋がるのではと感じた。	いただいたご意見を踏まえ、当該箇所の改ページ位置を修正いたします。 また、今後の設問修正等に伴い全体のレイアウトが変更となる際におきましても、回答者にとって見やすく、回答しやすいレイアウトとなるよう留意してまいります。
8	市民アンケート 問 19 で、新たな選択肢として、「他市と比較した際の佐久市としての環境課題」を追加。	ご提案の『他市と比較した際の佐久市の環境課題』につきまして、まず『他市との比較』という点ですが、比較対象（近隣市町村か、同規模の他都市か等）によって課題の捉え方や前提条件が大きく異なり、比較の目的や具体的にどのような分野（気候変動、ごみ、自然保護など）の課題提示を想定されているか、本日の審議会にて委員の御意図をもう少しお伺いさせていただき、その上で選択肢への追加の可否や適切な表現について検討させていただければと存じます。
9	市民アンケート 問 8 選択項目 1. 自然や生きものに関心を持っている を以下のように修正することを提案。 「地域の自然や生きものの変化について問題意識を持っている。」 理由：自然や生き物に関心を持っているということはほぼすべての人に当てはまると思うので、取り組みレベルとしてはあまり意味ないと思う。	本設問は今回新たに追加した項目であるため、より市民の具体的な意識を問う表現となるよう、委員からのご指摘を踏まえ『地域の自然や生きものの変化について問題意識を持っている（または、理解を深めている）』に修正いたします。
10	市民アンケート 問 10 選択項目 1. 森林・水辺などの保全、外来生物の駆除、清掃などの活動に参加したい を以下のように修正することを提案。 「里山、水田、ため池など地域の自然を守る活動に参加したい。」 理由：身近な地域を守ることを意識するような具体的な文言。	いただいたご意見を踏まえ、市民の皆様にとってより身近でイメージしやすい表現とするため、既存の『外来生物の駆除』等の重要な要素も残しつつ、『里山、水田、ため池など地域の自然を守る活動（外来生物の駆除や清掃など）に参加したい』といった表現に修正いたします。
11	市民アンケート 問 10 選択項目 8. 参加しやすいイベント・講座を以下のように修正すること提案。 「楽しみながら参加できるイベント・講座」 また、上記の他に、選択項目として以下のとおり加えたらどうか。 ・SNS やデジタルを利用した参加しやすい取り組み ・企業や行政の取組と連動しながら取り組める。	いただいたご意見を踏まえ、市民がより前向きに取り組めるよう、問 13 の選択肢 8 を『楽しみながら参加できるイベント・講座』に修正いたします。また、新たな選択肢として『SNS やデジタルを利用した参加しやすい取組』及び『企業や行政の取組と連動して取り組める仕組み』を追加いたします。
12	市民アンケート 問 14 以下の選択項目を一つにすることを提案。 4. 洪水や浸水被害の増加 5. 土砂災害の増加 →洪水や浸水被害・土砂災害の増加 その他に、停電・断水・通信障害など、ライフラインへの影響を加えたらどうか。	既存の選択肢の統合（『洪水や浸水被害』と『土砂災害』）につきましては、水害と土砂災害ではハザードエリアや必要な備え（避難行動）が異なるため、市民の皆様がどちらに対してより強いリスクを感じているかを詳細に把握したいという意図から、今回はそれぞれ独立した項目のまま実施させていただきたいと存じます。 一方で、新たにご提案いただいた『停電・断水・通信障害など、ライフラインへの影響』は近年非常に重要な視点であるため、【新たな選択肢（選択肢 12）として追加】いたします。
13	市民アンケート 問 14 選択項目 11. 冬季の気温や降雪の変化 を以下のように修正することを提案。 「雪不足や桜の満開時期など観光・文化への影響」	いただいたご意見を踏まえ、選択肢の表現を『冬季の気温や降雪の変化（雪不足や動植物への影響など）』へ修正し、意図が明確に伝わるよう対応いたします。

その他

No.	ご意見等	回答
1	全体通して、まずは佐久市から市民に対して、佐久市の環境についての課題提示や協力依頼がもう少し積極的にあっても良いのかも、と感じました。 具体的には「いきもの探し」にしても、「自然共生サイト」にしても、正直なところ、わたしは知りませんでした。佐久市として「佐久市の環境面はこんなところを目指したいんだよ、協力して！」というメッセージが、市民に届く仕組みが必要なのではないかと感じました。	委員ご指摘のとおり、市の目指す環境の姿や施策について、市民の皆様へより効果的にメッセージを届け、周知・啓発を強化していくことは今後の大変重要な課題であると認識しております。 大変重要な視点として、実効性ある施策構築の参考とさせていただきます。